

平成 20 年 10 月 24 日

## 四日市事業所におけるケミストリープラザ棟新設について

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社（本社：東京都港区、社長：小林 喜光）は、この度、主要事業所である四日市事業所（所在地：三重県四日市市東邦町、執行役員事業所長：吉村 修七）内に、お客様のソリューション実現のため、当社グループの技術基盤とソリューション事例の両面から技術・製品・用途を紹介し、体感していただくためのケミストリープラザ棟を新設いたしました。

四日市事業所は、中京圏、近畿圏の大消費地に近く、自動車業界、情報電子業界等当社グループのお客様が数多く立地している地区にあります。また、高機能樹脂等機能型商品の生産設備はもとより、50 余年にもわたる歴史を背景に樹脂等の技術蓄積を豊富に有し、グループで約 600 人に及ぶ研究者を擁していることから、当社グループでは、四日市事業所を「樹脂関連製品を主体とした研究開発、生産拠点」と位置付けています。

ケミストリープラザ棟には、主に当社グループの製品開発力を紹介するための「ケミストリープラザ」を設置し、2007 年 1 月、当社グループの総合ポータルとして本社に設置、そして同年 10 月、当社グループの技術基盤と将来技術を取り上げるため横浜研究センターに設置した「ケミストリープラザ」と併せて、三拠点のネットワークが完成いたします。

また本施設は、四日市事業所において 2007 年 4 月に開設した、製品試作を主に行うための「カスタマー・ラボ」を備えた研究開発棟（四日市未来創造館）に続くものとして、試作した製品の評価を行う「プレファクトリーヤード」の設置の他、材料評価や品質保証技術等の集約により、お客様と一緒に材料開発や製品試作、またそれらの評価を行うことができる仕組みを整えました。

加えて、「化学が変える未来のくるま」をテーマとした新たなコンセプトカーを作り、ケミストリープラザ棟に展示致します。

昨今の研究開発には、自社単独で新技術・新製品の研究を行うスタイルにとどまらず、お客様サイドに立ってニーズの充足、課題の解決を行っていくことが求められております。こうした現況を踏まえ、お客様に斬新なソリューションを積極的に提案できる体制を強化し、マーケットイン型ビジネスモデルへの転換を推進するために、当社グループとして、この度のケミストリープラザ拠点の完成は大きな意義を有するものであります。

ケミストリープラザ四日市棟の概要は、別紙の通りです。

本件についてのお問い合わせ先

三菱化学株式会社

広報・IR室 電話：03-6414-3730

四日市事業所総務Gr 電話：059-345-7001

ケミストリープラザ四日市棟の概要

1. 所在地 三菱化学株四日市事業所塩浜地区内
2. 主要機能及び設備
  - ・ 建屋：2階建研究開発棟  
ケミストリープラザ、プレファクトリーヤード、  
日本ポリケム株/日本ポリプロ株の以下の機能を集約したエリアにより構成
  - ・ 機能及び主要設備  
ケミストリープラザ：お客様とのインターフェース、製品開発力と技術の深みを紹介  
テーマコーナー、コアテクノロジーコーナーで構成、技術紹介データベース完備  
プレファクトリーヤード：製品開発のための「工房」、製品・部品の評価を行う  
コンセプトカー、実車部品、部品評価設備、自動車部品情報DB  
日本ポリケム株/日本ポリプロ株機能集約エリア：材料解析/評価、及び品質保証技術  
に関する機能を有する  
全自動材料物性試験機、分子構造解析装置、透過型電子顕微鏡、他
3. 工期 2008年2月～2008年10月
4. 建築面積 1,712 m<sup>2</sup>
5. 延べ床面積 2,880 m<sup>2</sup>
6. 設備投資額 約11億円
7. 収容研究者 約40名

三菱化学株四日市事業所の概要

1. 所在地 三重県四日市市東邦町1番地
2. 操業開始 1953年(昭和28年);旧三菱化成工業株操業開始
3. 主要製品 アクリル酸/アクリル酸エステル、PET、1,4-ブタジオール、PBT、THF、PTMG、  
シュガーエステル、カーボンブラック、合成ゴム他
4. 従業員数 グループ全体で約3,300人(三菱化学単体約1,100人)

以上